

「腹膜透析患者の鼠径ヘルニア修復術に関する研究」へのご協力をお願い

■ 研究の対象

「2002年1月1日～2020年3月31日、当院にて腹膜透析中に鼠径ヘルニアを発症し、当院で手術治療された方」

■ 研究の目的・方法

腹膜透析(PD)は腹腔内に透析液を注入し、数日に1回入れ替えることで行う透析であり、週3回数時間の加療を必要とする血液透析(HD)と比べて、透析患者様の社会活動を維持することができます。しかし腹腔内圧の上昇により、治療開始後鼠径ヘルニアを発症することがあります。

周術期管理として、以前は術前後に一時的な血液透析を行い、術後腹膜透析液の漏出と創部離開を危惧して、腹膜透析の再開を遅らせていましたが、最近では術直前に腹膜透析を中止し、血液透析をせず手術を行い、術後早期に腹膜透析を再開を行う報告が散見されています。しかし報告数が少なく、術後の腹膜透析の成績、再発、生命予後についても不透明であるため、当科の症例の検査結果・治療成績を集積し、これにより腹膜透析中に行う鼠径ヘルニア修復術の安全性と利点を分析・研究します。

研究実施期間:2020年6月18日～ 2022年12月31日

■ 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、問診内容、採血結果、画像結果、手術記録、手術合併症、術後経過、腹膜透析、血液透析治療経過、カルテ番号など。

■ 外部への試料・情報の提供

本研究を進めるため共同研究機関と、取り扱う試料・情報を共有致します。診療情報の提供にあたっては、個人識別情報を分離して匿名化したうえで、電子的に提供します。

■ 研究組織

共同研究機関： 京都大学医学部附属病院 研究責任者 喜安 佳之
役割・分担は、患者様のデータ確認ならびに分析を行います。

■ お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記のご連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障が

ない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。また、試料・情報が当該研究について、患者様もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象者といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることは一切ありません。

研究責任者

亀田総合病院 消化器外科 尾方信仁

お問い合わせ先 住所：〒296-8602 千葉県鴨川市東町 929 番地

電話： 04-7092-2211(代表)